



スーファイン  
**蘇芳瑩さん** (台湾出身)

スーファイン  
蘇芳瑩さんは台湾・中部の彰化県・和美鎮出身で、日本人のご主人との間に生まれた息子さんが1才半の時に来日。現在は川崎市内のご自宅で、台湾スイーツ・フードのネット販売と市内台湾料理店への卸売りで、製造から発送までをすべて一人で担当されています。

台湾スイーツ・フードについて教えてください。

台湾スイーツの代表的なものは、鳳梨酥(パイナップルケーキ)と芋頭酥(タロイモケーキ)です。パイナップルケーキは台湾土産としても有名ですが、私はパイナップル100%の餡を使っているので、繊維たっぷりです。タロイモは国産をもてなす晩餐会でも供されるようなお祝いのお菓子です。



お祝いのお菓子「タロイモケーキ」(芋頭酥)

台湾には旧暦のお正月・端午の節句・お月見など、日本と同じような季節の行事があり、粽(ちまき)や月餅など伝統的な食べ物が用意されます。贈答用に利用する方もいるので行事の頃は注文が増えますね。お客様は日本在住の台湾人も多いので、台湾の食材を使って本場の味を提供するようにしていますが、今後は日本人の好みも研究していきたいですね。



塩卵入り粽(ちまき)

言葉や文化、習慣が違う国でビジネスをするのは大変ですか？

台湾スイーツ・フードの製造販売は、同居している義母が助めてくれました。今も、義母の協力があるからこそできることです。

また、来日した頃、保育サービスがある川崎市国際交流センターや市民館で日本語を勉強していたのですが、そこで、台湾スイーツを皆さんに紹介すると、「おいしい。買いたい。」と販売を勧められたのも励みになりました。

受注内容の確認などの日本語のやりとりは難しく、特に電話は緊張します。ただ、購入されたお客様から、写真や感想をいただくのはとてもうれしいです。

子育てとの両立のコツは？

私の場合は、スケジュール管理です。私は子どもの成長を見逃したくないので、「子どもが一番大切・最優先」。週間タイムテーブルを作って、子どもの下校時間や習い事を中心に、製造や発送などのスケジュール調整をします。

また、今は子どもが小学生になったので、子どもとしっかりコミュニケーションをとって、相談と約束をしています。例えば、「今日は時間が無いけど、△曜日は公園へいこう」とか「今日は□時になったら帰ろう」という具合です。

台湾のご家族は？

私の実家は台湾焼き饅頭の製造・販売をしていましたが、今は朝食営業のみの店舗をしています。(台湾ではほとんどの人が、朝食を外でとります。)幼い時から母の仕事を手伝っていたことが、今の手作り販売に繋がっていると思いますし、今も台湾の食材調達などを、母や妹、親族がサポートしてくれています。



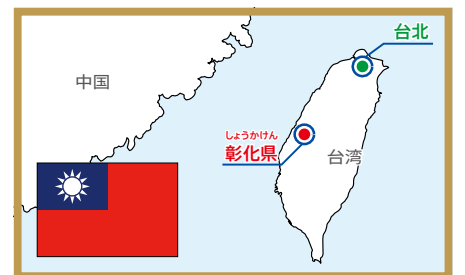
中身がぎゅぎゅつまった「台湾焼きまんじゅう」(水煎包)

将来、自分のお店を持てたら、テイクアウトなどで、ワーキングマザーの手助けもできて、お客様に幸せを感じていただけるお店にしたいです。



「2017 中国語による国際理解講座」で講師をするスーファインさん

(取材・文: 編集ボランティア 青柳尚子)  
チャーミングなスーファインさんから、幸せのお裾分けをいただいたようなインタビューでした。仕事にも、お子さんと真摯に向き合う姿にもエールを送ります。



幸福5番本舗

facebook: <https://www.facebook.com/shiawasegobahopo/>